

令和4年度入学式式辞

今年の桜は気温の寒暖にもかかわらず、入学式を待っていてくれて、校内でも見ごろの時期が続いています。

新入生の皆さん、小松川高校への入学、おめでとう。保護者の皆様、本日はお子様の本校へのご入学、おめでとうございます。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、入学式1家庭1名までの参加にご協力くださり、誠にありがとうございます。また、本日は本校 PTA、同窓会、松葉会を代表してご参列くださいました皆様、ありがとうございます。

さて、新入生諸君は第 107 期生として3年間小松川高校で学校生活を送ります。小松川高校の教育目標は「質実剛健・文武両道」グラウンドデザインにおける「と一歩前へ」の精神です。学習活動と探究活動、部活動、学校行事、生徒会活動や委員会活動等、一人の生徒がいくつものことにチャレンジすることが都立高校の良さです。それも高い目標をもって取り組み、充実した高校生活を送ってください。

次に、新入生諸君に【眼高手低】という言葉を送ります。「目が高いけれど、自己の技術は下手」が本来の意味ですが、2008年ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英教授は「目標を高く、実践は基礎から着実に」と私訳しました。どの高校生にも当てはまる言葉ですし、小松川高校の生徒にピッタリだと考え、新入生諸君に紹介します。

最後に新入生諸君が感染予防に努めて、小松川高校 107 年目からの歴史を築いていってください。小松川高校で充実した生活を気持ちよく送っていくことを祈念して、式辞とします。

令和4年4月7日

東京都立小松川高等学校長

北江 繁治